



TITLE:

官業整理と財政

AUTHOR(S):

小川, 郷太郎

CITATION:

小川, 郷太郎. 官業整理と財政. 經濟論叢 1915, 1(3): 389-404

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126897>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號三第

卷一第

論說

●染料藥品生産獎勵制度

●經濟學認識論ノ若干問題(一)

●營業利益課稅新案

●貧富問題(二)

雜錄

●官業整理ト財政

●南洋新占領地研究ノ一やつふ島研究

●享保年間ノ米價調節(二)

●收益遞減ノ法則ノ擴張

雜報

●獨逸ノ戰時經濟組織

●獨逸經濟ノ軍國主義化

●佛蘭西ノ農產擔保貸付法

●近時米國ニ於ケル婦人ノ職業ノ變遷

●獨身者ノ組合運動

●收穫ノ増減ト價格ノ變動

●すまゝと教授逝ク

法學博士 戸田 海市

商學士 左右田喜一郎

法學博士 神戶 正雄

法學博士 田島 錦治

法學博士 小川 郷太郎

助教授 山本美越乃

法學士 本庄榮治郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

法學博士 小川 郷太郎

助教授 河田 嗣郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

講師 高田 保馬

法學博士 河上 肇

雜 錄

官 業 整 理 ト 財 政

法學博士 小 川 郷 太 郎

官業整理ハ大隈内閣ノ重ヲ置ケル政策ノ一ナリ、政府ハ之ヲ實行セントシテ、既ニ官業整理調査委員ヲ任命セリ、故ニ官業整理ハ、遠カラズシテ、事實トナリテ現ハルベシ、吾人ハ今ニ於テ徐ニ其利害ヲ研究セサルベカラズ。

官業整理ト云フモ、實ハ官業拂下ニ外ナラズ、官業拂下ノ目的物トシテ眼中ニセラルル所ノモノハ、鐵道製鐵所製絨所製材所印刷局ナルカ如シ、是等ハ皆政府ガ之ヲ營ミテ相當ニ利益ヲ擧ケツツアルモノ也、故ニ官業整理ハ財政上ノ煩トナルモノヲ整理セントスルニアラズシテ、財政上利益アルモノヲ廢除セントスルモノト云ハサルベカラズ、是ニ於テ財政上ノ問題トナル也。

官業整理ノ問題ハ、今日ニ於テ初テ起レルモノニアラズ、山本内閣ノ時ニ於テモ起レリ、山本内閣以前ノ内閣ニ於テモ起レリ、其起ルヤ、金融緩漫ニシテ事業ノ起ラサル時ニ於テスルヲ常トス、而シテ其之ヲ問題トスルモノハ實業家ナリ、彼等ハ絶叫シテ曰ク官業ヲ整理スルニアラザレハ民業ハ發達セズト、政黨ハ其絶叫ヲ聞テ直ニ之ヲ以テ其政綱トシ、政府ハ其絶叫ヲ聞テ、直

ニ之ヲ以テ其政策トナス也、故ニ之ヲ實業家ヨリ見レハ、遊金ヲ利用シ有利ノ官業ヲ買ハントスル利益運動トモ云ヒ得ベク、之ヲ政黨并ニ政府ヨリ見レハ、人氣取りノ政策トモ云ヒ得ベシ、然レトモ實業家ノ利益運動、政府并ニ政黨ノ人氣取り政策、共ニ國家百年ノ大計ニアラズ、官業ニシテ性質上拂下クベキモノナラバ則チ已ム、苟モ然ラザラン乎、政府ハ斷シテ人氣取り政策ノ爲ニ、之ヲ拂下クベカラサル也、是ニ於テ、官業ハ本質上拂下クベキカ否カノ問題トナル也。余ハ兩方面ヨリ此問題ヲ解決セントス。

二

官業整理論者ノ說ニ曰ク、官業ハ民業ヲ壓迫ス、故ニ民業ヲ發達セシメント欲セバ、官業ヲ拂下ケサルベカラズト。是レ果シテ如何ナル學說ヲ基礎トスルモノナリヤ、吾人甚タ之カ了解ニ苦マサルヲ得ズ是ニ於テ吾人ハ官業ニ關スル學說ノ變遷ノ大要ヲ叙シ、併セテ、政策ノ變遷ノ大體ヲ見サルベカラズ。(註一)

古代中世ハ姑ク之ヲ措テ問ハス、近世ノ初ニ於テ所謂近世國家ノ起ルヤ、國力ヲ増進スルノ策大ニ行ハレタリ、當時人以爲ラク、國力ヲ増進セントセバ、經濟力ヲ増サザルベカラズ、經濟力ヲ増サントセバ、國內ノ交通ヲ自由ニシ、國內ノ産業ヲ起コシ、國トシテ輸出ヲ盛ニセサルベカラズ、國內ノ産業ヲ起コサントセハ、國家目ヲ進テ、或ハ模範工場ヲ立テ或ハ一定ノ商工業ヲ獨占シ或ハ民間産業ヲ獎勵セサルベカラズト、是レ所謂 Mercantilism ノ思想ナリ、Mercantilism ヨリイヘハ官業ハ其要求也、故ニ Mercantilism ノ學說ノ行ハレタル時ニハ、官業ハ最も盛大ヲ致セリキ(註二)現今歐洲諸國ノ官業中ニハ其當時ノ Mercantilism ノ政策ノ遺物タルモノ少シトセズ、

陶器製造所、麥酒製造所、國有銀行等ノ如キ即チ是ナリ。(註三)

Mercantilismノ政策ハ、其當時ノ國家ヲ盛ニシ、其經濟力ヲ高ムルニ與テ大ニ力アリシハ疑フベカラズ、然リ而シテ Mercantilismハ所謂警察國家說ノ上ニ立ツ、警察國家說ハ國家ノ權力ノ無限ナルコトヲ前提トシ、國家ハ如何ナル事ニモ、個人ニ干涉シ得ルモノトナス也、然ルニ國家無限ノ干涉ハ個人ヲ發達セシムル所以ニアラザルノミナラズ、少シク發達セル個人ノ堪ヘ得ル所ニアラズ、是ニ於テ、反動起レリ、所謂自由思想即チ是ナリ。

自由思想ニ曰ク、人民ハ生レナカラニシテ、自由ナリ、人民ハ生レナガラニシテ權利ヲ有ス、國家ト雖トモ此人民ノ自由ト權利ヲ侵ス能ハズ、國家ノ爲シ得ルコトハ、人民ノ生命財産ノ保護ノミ、人民ノ生命財産ノ保護ニ關係セサルコトハ、國家ノ手ヲ觸ルベキコトニアラズ、人民ノ自由ニ放任セサルベカラズト。此自由思想ハ經濟學者ノ學說ニ入リテ、經濟自由說トナレリ。重農學派ノ學說、正統經濟學派ノ學說即チ是ナリ。重農學派ト正統經濟學派ハ、純理ニ於テ見解ヲ異ニスルモノモアレトモ、國家ノ權力ヲ最モ狹ク解シ、國家ガ經濟事業ニ對シテ、自由放任ノ政策ヲ採ラサルベカラズトスルニ至テハ一ナリ。

經濟自由說、自由放任ノ經濟政策ヨリイヘハ、政府ガ個人ノ經濟行爲ニ干涉スルサヘ既ニ非ナリ、況ヤ、政府カ自ラ經濟事業ヲ營ムニ於テヤ、故ニ官業ハ此學說ノ當然ノ結果トシテ之ヲ排斥セサルベカラズ、從テ此學說ノ一世ヲ風靡スルヤ、官業ハ相踵テ拂ヒ下ケラレ以テ、民業ニ移サルルニ至レリ。

經濟自由說ハ、如何ナル時ニ於テモ、如何ナル國ニ於テモ、如何ナル弊害起ルモ、自由放任ナ

ラサルベカラズ、自由放任ハ、古今ヲ通シ東西ニ亘リテ變セサル眞理ナリトナス也。然ルニ、經濟事情ハ、時ニヨリ、國ニヨリテ、同シカラズ、之ヲ同一様ニ律スルコト既ニ疑ヲ容ルルノ餘地アリ、況ヤ弊害起ルモ、之ヲ放任セヨト云フニ至テハ、到底以テ時世ノ急ヲ救フコト能ハサル也、加之、是等ノ學說ハ、生産ヲ重シテ、分配ヲ輕シズ、生産ノ盛ニ起リテ、一國ノ富ノ増スコトニ心ヲ用ヒ、其富力如何ニ分配セラルルカニ至テハ、多ク意ヲ致サズ、然ルニ生産ガ如何ニ盛ニナルモ、貧者徒ニ多クシテ、其生産物ヲ消費スルノ力ヲ缺カバ、人生ノ幸福ハ、得テ之ヲ期スベカラズ、又何ノ爲メノ生産ナリヤ殆ト之ヲ解スベカラズ、果シテ然ラハ分配ハ之ヲ輕スベカラサル也。此理明ナルニ及テ、正統經濟學派ノ說ハ衰ヘ、歷史派、社會政策學派ノ說起レリ。

歷史派ノ說ニ曰ク、經濟ヲ發達ス、故ニ時ト處ニ依テ異ルベキモノナリト、是レ正統經濟學派ノ古今ニ通シ東西ニ亘リテ眞ナリトスル學說ヲ破ルモノナリ、官業ニ就テ之ヲ云ヘハ、其歷史ニヨリ、其現狀ニヨリ個々ノ場合ニ就キ、解決ヲ異ニスベク、一概ニ排斥スベカラズト云フコトニ歸着スル也。

社會政策學派ノ說ニ曰ク、貧富ノ懸絶甚シキハ、國家社會ノ憂ナリ、故ニ之ヲ矯正セサルベカラズト、是レ正統經濟學派ノ生産ヲ重ンスルニ反對シテ、分配ヲ重ンスルモノ也。社會政策學派ハ、此見地ヨリ出發シ、或ル範圍ニ於テ生産手段ヲ所有シ、官業ヲ營マサルベカラズト說ク。是レA. Wagnerノ最モ力ヲ入レテ主張スル所ナリ*

歷史派ノ學說、社會政策學派ノ學說行ハルルニ及テ、諸國ノ政策ハ、官業拂下ノ方針ヨリ一轉シテ、官業維持ノ方針ニ移レリ、殊ニ中歐ノ諸國ニ於テ然リトス。

之ヲ學說并ニ政策ノ變遷ノ梗概トス。我國ノ官業整理論者ハ如何ナル學說ヲ探レルカ、若シ正統經濟學派ノ經濟自由說ヲ採リ、官業ハ總テ排斥セサルベカラズト論スルナラバ、餘程時世ニ後レタル議論ト評セサルベカラズ。

(註一) 官業トハ國家公共團體ノ經濟的企業ナリ、國家公共團體ノ經濟的企業ノ中ニハ、單ニ其國家公共團體ノ職分ヲ行フ爲メノ設備ニ過キサルモノアリ、造幣局ノ如シ又ハ消費稅徵收ノ方法トシテ經營スルニ過キサルモノアリ、專賣ノ如シ、又國家公共團體カ財產又ハ設備ヲ有シ之ヲ私經濟的ニ經營スルモノアリ、官有地、官有林、鐵道郵便電信電話官商工業ノ經營ノ如シ、茲ニ謂フ官業ハ主トシテ第三ノ官業ヲ眼中ニスル也學者ノ所謂私經濟的企業是也然ルニ學者ニヨリテハ郵便電信電話ヲ私經濟的企業ニアラズト云フモノアリ、或ハ鐵道ヲモ私經濟的事業ニアラズト云フモノアリ、然レトモ是等皆國家ノ經濟的企業ニシテ而モ多クノ收入ヲ學ケツアルコトハ他ノ私經濟的企業ニ讓ラサルモノアリ、故ニ姑ク多クノ學者ニ倣ヒ、茲ニ官業ノ中ニ入レテ之ヲ論セントス。

(註二) Roscherノ記スル所ニ據レハ、佛國ニテハ一六七七年總テノ商業ハ *droit domanial* ト宣言シ、一六八五年ニハ之ヲ工業ニモ擴張セリ、*Colbert* ハ世ノ反對ヲ受ケシニ拘ラス此政策ヲ繼續セリ、英國ニテモ *Elizabeth* ハ各商業ハ國家ノ獨占トナシ得ルモノトナセリ、瑞典ノ *Gustav Adolph* ハ銅鹽穀物等ノ商業ヲ獨占シ、普魯西ノ *Friedrich* 大王ハ煙草咖啡糖ノ商業ヲ獨占セリ以テ其時代ノ大勢ヲ見ルベシ。(註三) 陶器製造所ハ普魯西(一七六三年來索遠一七一〇年來 *Mieszen*) 巴威爾(一七五六年來 *Nymphenburg*) 佛蘭西(一七三八年來 *Steres*) ニ存ス、麥酒釀造所ハ巴威爾ニ其例ヲ見ル、一六二四年ニ創立セラレン *Hofbrauhaus* 是也、國有銀行ハ普魯西ニ其例ヲ見ル、一七七二年海商ノ目的ヲ以テ創立セラレ其後銀行業ノミチ營ムモノトナリシ *Secundung* 是也。

三

前段說ク所ニ由テ之ヲ觀レハ、今日ノ學說ハ、官業ヲ辯護シ、今日ノ政策ハ、官業ヲ維持スル

* A. Wagner, a. a. O. S. 487 M. Heckel, Lehrbuch. der Finanzwissenschaft BdIII S. 357

** Umpfenbach, Finanzwissenschaft, § 37-39

*** Roscher.-Gerlach System der Finanzwissenschaft. BI. § 25.-26

ヲ大勢トス、然レトモ、コハ今日ノ時世ガ必スシモ官業ヲ排斥セス、却テ官業ヲ歡迎スルノ傾アルコトヲ云ヘルノミ、之ニ依テ、總テノ産業ハ官業ニ移シ得ルコトヲ云ヘルニ非ズ、然ラハ如何ナル産業ハ之ヲ官業トスベキカ、吾人ハ次ニ之ヲ解決セサルベカラズ。

此問題ヲ解決セントセバ、二ノ見地ヨリ之ヲ見サルベカラス、社會政策ノ見地、一般國民經濟ノ見地財政上ノ見地是也、*Adolf Wagner* ノ夙ニ論破セシ所ナリトス*

此三ノ見地ヨリ出發シテ、之ヲ究ムルニ、獨占事業ノ如キハ、先ツ之ヲ官業トセサルベカラス、茲ニ獨占事業ト云フハ、其事業ノ自然ノ性質上獨占タルモノ、(自然的獨占)資本經營ノ結果獨占トナレルモノ(資本的獨占)、ヲ包括ス。獨占事業ハ、其獨占ノ由來如何ヲ問ハズ市場ヲ左右シ價格ヲ決定スルノ權力ヲ有ス、其獨占ノ理ニヨリテ定マレル價格ハ之ヲ獨占價格ト云フ、獨占價格ハ、獨占者ニ最も多クノ利益ヲ齎ラス照ニ於テ定マルモノトス、競争價格ヨリ高キハ論ヲ竝タス、故ニ獨占事業カ私人ノ手ニ在ルトキハ、私人ハ公衆ニ高キ價格ヲ課シ、自ラ大ニ利シ忽チニシテ巨萬ノ富ヲ成スベキ也、之ニ反シテ獨占事業カ、國家公共團體ノ手ニ在ルトキハ、必スシモ獨占價格ヲ課セス是レ國家公共團體ハ公衆ノ利益ヲ眼中ニスルモノナレハ也、國家公共團體ガ獨占價格ヨリ低キ價格ヲ課セン乎、社會公衆ハ、大ニ經濟上ノ負擔ヲ輕ノシ、以テ經濟上ノ發展ヲ爲スコトヲ得ベク、國庫モ亦之カ爲ニ幾分ノ收入ヲ得テ、租稅負擔ヲ輕フスルコトヲ得ベシ、之ニ反シテ國家公共團體ガ獨占價格ヲ課スルトセン乎、社會公衆ハ直接ニ利益スル所ナキカ如キモ、間接ニ大ニ利益スベシ、蓋シ獨占價格ニヨリ國庫カ大ナル收入ヲ得ルトキハ、ソレ丈ケ租稅ノ負擔ヲ輕クスルコトヲ得ベケレバ也。加之獨占者ハ價格決定權ヲ有スルカ故ニ差別的價格ヲモ

* A. Wagner. a.a. O. § 217-218

定、ムルコトヲ得、若シ私人ガ獨占事業ヲ營ミ、差別的價格ヲ課スルトセン乎、容易ニ經濟的ニ、或ル企業家ヲ殺シ或ル企業家ヲ活カシ得ベシ、是レ一般國民經濟上許スベカラザルコト也、反之國家公共團體ガ獨占事業ヲ營ムトキハ、差別的價格ヲ課スルコトナカルベク、若シ之アリトスルモ、ソハ國民經濟上利益アル場合ニ限り、個人企業家ニ對シテ之ヲ行フコトナカルベシ、由是觀之、獨占事業ヲ官業ト爲スハ、一般經濟上、社會政策上、財政上ヨリ見テ、正當ナリト云ハサルベカラズ。獨占事業ハ種々アレトモ、其最モ著シキモノヲ鐵道、郵便、電信、電鐵、水道、電燈、瓦斯等トス、是ニ於テ乎、鐵道郵便電信ノ國營、電鐵電燈瓦斯水道等ノ市營アリ。

以上述フルカ如ク、獨占事業ハ之ヲ官營トナササルベカラサルガ、場合ニヨレバ、事實上、之ヲ獨占トナシ得ザルコトナキニアラズ、資本的獨占ノ場合ニ於テ之ヲ見ル、此ノ如キ場合ニハ、國家ハ、民間ノ獨占ヲ破リテ、ソガ一般ノ經濟社會ニ及ボス害ヲ減殺セサルベカラス、之ヲ爲ス方法ハ他ナシ、國家ガ民間ノ獨占ヲ破ルニ足ルベキ力ノ事業ヲ自ラ經營スルコト是ナリ（註一）普國ガ石炭其他ノ鐵山ヲ經營スル重ナル理由ハ亦茲ニ在リ、*此ノ如クシテ成リ立テル官業ハ、獨占事業ノ官營ト同シク一般經濟上ヨリ見テモ、社會政策上ヨリ見テモ、財政上ヨリ見テモ、正當ナリト云ハサルベカラズ。

次ニ、自然的獨占資本的獨占ノ性質ヲ帶ヒサルモノニシテ、而モ政策上、國家公共團體ノ獨占トセサルベカラサルモノアリ、自由競爭ニ任セバ、國民經濟上、有益必要ノ物ヲ十分ニ供給シ得サルカ、若クハ、非常ニ毒害ヲ流シ、經濟上ノ進歩ヲ妨クル虞アル場合ニ於テ之ヲ見ル、**今回ノ戰爭ニ於テ、獨逸瑞西カ穀物專賣ヲ營ミ、又獨逸ガ、窒素工業ヲ獨占シ、英國ガ砂糖專賣ヲ爲

* Conrad. Finanzwissenschaft. 6. Aufl. S.233

** Roscher-Gerlach. a. a. O. § 29.

シ、保險ニ手ヲ付ケタルガ如キ*中歐ノ諸國ガ、平素富籤ヲ營タルガ如キ以テ例トスベシ。此ノ如キ官營ハ主トシテ、一般經濟上ノ理由ニ基クモノナレトモ、亦國家カ、之ニヨリテ多少ノ利益ヲ得ントスル理由亦之ナキニアラズ、換言スレハ、財政上ノ理由モ亦存スル也。

以上述べタル事業ノ外ハ、元則トシテ、民間ノ經營ニ任カスベキ也、然ルニ、此元則ニハ大ナル例外アリ、民間ノ經營ヨリハ國家ノ經營ヲ以テ、一般國民經濟上有益トシ、社會政策上正當トスル事業ノ如キハ其一也、此ノ如キ事業ハ時ト處ニヨリテ必スシモ同シカラズト雖トモ、森林事業ヲ其一二數フベシ(註一)森林事業ハ必スシモ國家公共團體ノ獨占ヲ必要トスルモノニアラズト雖トモ、進歩セル國ニ於テハ、官林ノ面積頗ル大ナルヲ見ル(註二)而シテ是等ノ事業ハ亦、國庫ニ相當ノ利益ヲ齎シツツアリ、由是觀之、此種ノ官業モ亦、一般國民經濟上、社會政策上、財政上ノ理由ヲ具フルモノト云ハサルベラズ。

(註一) 民間ノ獨占ヲ破ルニ足ルベキ丈ノ事業ヲ有センハ、又時ニヨリテ必スシモ容易ナルコトニアラズ、殊ニ「カルテツル」「トラス」ト運動ノ盛ナル今日ニ於テ然リトス、然レドモ國家ガゾノ事業ヲ有スルノ故ヲ以テ「カルテツル」等ニ參加スルコトヲモ得ベシ、此ノ如クスルトキハ民間ノ獨占ニ對抗スルニアラズシテ、之ト進退ヲ共ニスルコトトナル也、但シ國家ガ參加スルトキハ「カルテツル」ヲ内部ヨリ制御シ監督スルコトヲ得、是レ亦其事業ノ一部ヲ官營トスルノ理由トスベシ。

(註二) 森林ハ雨ヲ呼ヒ、濕氣ヲ保存ス、故ニ氣候ヲ調和ス、又降雨アルモ之ヲシテ一時ニ土砂ト共ニ低地ニ向テ流出セシメサルカ故ニ河川ノ氾濫ヲ防グ、從テ一般國民經濟上ニ及ホス影響ハ極テ大ナリトス、私有林ハ動モスレハ濫伐セラレントス、獨リ官林ハ然ラズ、又土地ニヨレハ森林トスルヨリ外用ヒ、方ナキモノアリ、之ヲ國家カ有ストスレハ其性質ニ從テ用フルコトヲ誤タズ、是レ亦國民經

* Jaffé Die Militarisierung unseres Wirtschaftslebens (Archiv für Sozialwissenschaft u. Sozialpolitik Bd. 40. 3. Heft. S. 523ff.) 本號雜報拙稿參照

濟上必要ノコト也。又林業ハ農業トハ異リ急速ニ利益ヲ收メ得ベキモノニアラズ。従テ、永年ニ亘リ、大仕懸ケニ經營スルヲ必要トス。是レ又官業トスルニ適ス。加之林業ハ資本并ニ勞力ノ組織ヲ爲シテ經營スルト云ハンヨリ、寧ロ自然ニ依ルコト多キモノナレハ、國營トスルモ、失敗スル等ノコトアルナシ。又林地ノ地代モ年ヲ逐テ増加ス。是レ一般經濟ノ發達、社會ノ發達ノ結果タラスンバアラズ、國家ガ之ヲ得ルハ社會政策上正當ノコト、云ハサルベカラズ。

(註三) 獨逸ニ於テハ聯邦諸國ノ有スル林地ハ總林地ノ三分之一以上ヲ占メ市町村有テ加フレバ優ニ二分一ヲ超ユ。

四

獨占事業ヲ官營トスベキコト、獨占ヲ破ルガ爲ニ其事業ノ或ル部分ヲ官營トスベキコト、自由競爭ニ任セハ弊害多キ事業ヲ官營トスベキコト、個人ガ營ムヨリモ國家ノ營ムヲ有益トスルカ如キ事業ヲ官營トスベキコトハ、前段ニ述フルカ如シ、是レ一般國民經濟上ヨリ見、社會政策上ヨリ見テ、然ラサルベカラサルガ、又財政上ヨリ見テモ然ラサルベカラサルナリ。

財政上ヨリ見テ、官營トナスベシト云フハ、畢竟ソノ事業ガ、利益ヲ生スルガ爲メノミ、此理由ハ極メテ重大ナルモノナリトス、若シ他ノ理由ニヨリテ官營トナスベキモノモ、之カ爲ニ國庫ノ損失ヲ來スカ如キモノナランニハ、其官業ハ財政上鞏固ナル基礎ノ上ニ立テルモノト云フヲ得ズ之ニ反シテ官業カ國庫ニ利益ヲ齎ラストキハ、其官業ハ鞏固ナル基礎ノ上ニ立テタルモノト云フコトフ得ベク、漫ニ官業整理ノ名ノ下ニ之ヲ拂下クルコト能ハサル也、是ニ由テ之ヲ觀レバ財政上ノ理由ハ官業問題ヲ決スルニ極テ重大ナリト謂ハサルベカラズ。

尙一步ヲ進テ論スルトキハ、單ニ財政上ノ理由ノミニテ、官業トナスベキモノナキニアラズ、

單ニ財政上ノ理由ノミニテ官業ト爲スベキモノト云ハバ、凡テ收益ヲ生スル事業ハ擧テ之ヲ官營トスベキカ如クニ聞コユ、果シテ然ランニハ民業ハ成立スルニ由ナカルベシ、是カ故ニ、單ニ財政上ノ理由ニヨリ官營トナスベキモノニモ、自ラ標準ナカルベカラズ、其標準トハ他ナシ、國家ノ需要スル貨物ヲ自己生産ノ方法ニヨリテ辨スルコト是也、此標準ニヨルトキハ、國家ノ營業事業ハ自ラ限局セラルベキ也、而シテ、自己生産法ニ依ルトハ云フモノノ國家ノ需要スル總テノ貨物ヲ生産スルコト能ハズ假令之ヲ生産スルトスルモ必スシモ、經濟的ナラサルモノモアルベシ、故ニ國家カ自ラ生産シテ自己ノ需要ヲ充タストセバ、民間ヨリ買上クルニ比シ、有利ナラサルベカラズ、此條件ニヨルトキハ、國家ノ自ラ營業事業ハ更ニ大ニ限局セラレサルベカラズ。

國家カ自ラ生産シ而モ民間ヨリ買上クルニ比シ有利ナルモノト云ヘハ、其需要額從テ其生産額ハ比較的多量ナラサルベカラズ、且ツ其需要ハ年々歳々非常ニ變動スルコトナキモノナラサルベカラズ、此等ノ條件ヲ充タストキハ、之ヲ官業トスルモ、國庫ニ損害ヲ與フルコトナク、却テ大ニ利益ヲ齎ラスベシ、蓋シ國家カ自己生産法ヲ採ラサルトキハ、其買上ニ於テハ、競買ニ付シ、請負工事ニ於テハ、競争入札ニ付セサルベカラズ、然ルニ、所謂御用商人、御用請負人ハ互ニ結托シテ、一定ノ價ニテ、一定ノ人ニ落札セシメ、其利益ヲ分配スルコトアルカ故ニ、競争入札ノ目的ヲ達スルコト能ハズ、若シ競争入札カ理想的ニ行ハレタリトスルモ、御用商人御用請負人ノ暴利ヲ占ムルコトハ依然トシテ異ル所ナシ、若シ然ラズンハ、競争入札ニ參加スルコトアルベカラサレハナリ。然ルニ今國家カ自ラ其事業ヲ經營シ以テ自ラ辨ストセハ、御用商人御用請負人ノ利スル所ヲ省キ得ベシ、加之、國家ハ其投セル資本ニ對シ利子ヲ支拂フノ要ナク生産品ヲ販賣スルカ

爲ニ、廣告費其他種々ノ雜費ヲ要セズ、是カ故ニ、官業ハ、生産費ヲ少クスルコトヲ得、從テ其生産品ヲ安價ニ賣ルコトヲ得ベシ、若シ國家ガ其需要スル貨物ヲ安價ニ買ヒ得ルトセハ、ソハ物件費ノ減少也、國庫ヲ利益スルコト極テ大ナリト云ハサルベカラズ、併シ計算ノ便利ノ爲ニ其生産品ハ之ヲ、市場一般ノ價格ニ見積ルコトヲ得ベク、從テ其官業ハ大ナル利益ヲ生ムモノトナルベシ、蓋シ物件費ノ減少モ、官業ノ收益増加モ歸スル所ハ等シク國庫ノ利益ナレバ也。

此種ノ官業ハ國家ノ需要ヲ充タシタル外、尙餘力アラバ、其製品ヲ民間ニ賣リ得ベシ、製品ヲ民間ニ賣ルハ、又其官業ガ利益ヲ生ム所以也、何レニスルモ、此種ノ官業ハ收益ヲ生スルモノト看做ササルベカラズ。

此種ノ官業ハ、陸海軍ノ需要品ヲ供給セントシ、又ハ他ノ官業ノ需要スル品ヲ供給セントスル場合ニ之ヲ見ル、我國ノ陸軍砲兵工廠、海軍砲兵工廠、製絨所、製鐵所、電信用品製造所、印刷局等ハ此種ノ官業ニ數フルコトヲ得ベシ。

以上述フル所ニ依テ之ヲ觀レハ、今日ノ官業ハ、收益ヲ生ムコトヲ目的トシ、又現ニ其收益ヲ生ミツツアルモノト云ハサルベカラズ。而シテ官業ノ收入ハ、今日ノ財政ニ於テ、非常ニ大ナル意義ヲ有スルモノナリ、官業整理ニヨリテ、官業ヲ拂下ケバ其官業ノ收入ハ失ハルベキ也、是レ果シテ今日ノ財政ノ許ス所ナリヤ、大ニ疑ナキ能ハズ、是ニ於テ吾人ハ、官業收入ガ、財政上如何ニ重キヲ爲スヤヲ吟味セサルベカラズ。

五

官業收入ハ獨逸學者ノ所謂私經濟的收入 (privatwirtschaftliche Einnahmen) 伊太利學者ノ所謂私

法的收入 (entrate ordinarie di diritto privato) ノ主要ナルモノナリ。

今日ノ財政ハ或ル意味ニ於テ租稅財政ナリト云フコトヲ得、財政收入ガ、租稅ヲ中心トシテ回リツツアリト云フノ義ナリ、然レトモ、他ノ方面ヨリ見レハ、所謂私經濟的收入殊ニ官業收入ハ、財政上非常ニ重大ノ意義ヲ加ヘツツアルカ如シ、余ハ之ヲ明ニスルカ爲ニ、私經濟的收入ガ財政上占ムル地位ノ變遷ヲ見ントス。

之ヲ歐洲ノ財政史ニ徴スルニ、其初メ、國家ノ經費ハ、君主ノ私收入ヨリ支辨セリ、君主ノ私收入ト云フハ君主ノ所有地即チ *Domanium* ヨリ生スル收入ナリ、君主ハ到ル處ニ、廣大ナル *Domanium* ヲ有セシカハ、其收入ハ少カラサリキ、而シテ其當時ノ國費ハ、比較的大ナルモノニアラサリシヲ以テ *Domanium* ノ收入ハ國費ヲ支辨スルニ餘アリシ也、而シテ、時人ハ此ノ如キ支辨方法ヲ以テ、少シモ怪マサリキ、盖シ其當時ニ於テハ、君主ト國家トヲ分ツナク、公法ト私法トヲ別ツナク、從テ公經濟ト私經濟トノ差ヲ明ニスルコトナカリシヲ以テ也、伊太利ノ學者ガ、私法的收入ニ代フルニ *demanio fiscale* ノ名ヲ以テシ* 今尙 *demanio* ノ語ヲ用フルハ、此時代ノ遺物ト見ルコトヲ得ベシ、余ハ此時代ヲ姑ク、私經濟的收入時代ト名ケントス。Roscher ノ所謂 *Domänenwirtschaft* ノ時代即チ是ナリ**

然ルニ、君主ハ其後所有地ノ一部ヲ割キテ之ヲ其寵臣ニ與ヘ、又ハ寺院ニ寄贈シタリシヲ以テ *Domanium* ハ次第ニ減シ、從テ其收入モ亦少クナリシガ、之ニ反シテ、國費ハ却テ増加シ來リタルベ、*Domanium* ノ收入ヲ以テ國費ヲ辦スルコト能ハサルニ至レリ。是ニ於テ君主ハ所謂特權收入ナルモノヲ以テ之ヲ補ヘリ、特權收入ト云フハ、君主ノ特權 (*Regalien*) ヨリ生スル收入ナリト

* Flora. Scienza della Finanze 4. ed. p. 118

** Roscher-Gerlach. a. a. O. § 18.

ノ義也、其所謂君主ノ特權ハ、*Domanium*ノ土地高權ヨリ流レ出テタルモノ多カリシガ如シ狩獵特權、鑛山特權、鹽ノ特權、河川權、海岸權、海關稅權ハ其一例ナリ、然ルニ、其特權ナルモノハ、其數非常ニ増加シ、從テ特權收入モ亦非常ニ多キヲ加ヘリ、故ニ此時代ハ特權經濟ヲ中心トセル時代ト名クメン、*Roscher*ノ所謂 *Regalwirtschaft*ノ時代是也、*Roscher*ハ、又之ヲ、中世ノ *Domänenwirtschaft*ノ時代ト近世ノ租稅ヲ中心トセル時代トノ過渡的時代ト云ヘリ。* 特權收入ハ其實、性質ノ明ナラサルモノアリキ、半ハ、私法的ニシテ、半ハ公法的ノモノトモ見ルコトヲ得ベケレハ也、故ニ此收入ノ重キヲ爲セルハ、私經濟的收入ヨリ公經濟的收入ニ移ラントスル過渡的時代トモ云ヒ得ベキ也。

國家ノ理論進ミ、公權私權ノ別ガ明トナルニ及ヒテヤ、此不透明ナル特權收入ナルモノハ、存在スルコトヲ得ズ、解體シテ或ハ手數料トナリ租稅トナリ、或ハ私經濟的收入トナレリ、而シテ之ニ代テ財政收入ノ中心ヲ形クレルモノハ租稅ナリキ、故ニ之ヲ租稅時代ト稱スルコトヲ得ベシ。

租稅時代ニ於テモ、其初ニ於テヤ、尙少カラサル私經濟的收入ヲ存セリ、然ルニ、自由主義ノ風カ歐洲ノ天地ヲ席捲スルヤ、官有財產并ニ官業ヲ掃蕩シテ、殆ト餘ス所ナク、只中歐ニ於テ多少昔ノ面影ヲ忍ハシムルモノ存スルニ過キサリキ、是ニ至テ、私經濟的收入ハ殆ト財政上ニ何等ノ重キヲ爲サザルモノトナレリ。

然ルニ歐洲諸國ノ經費ハ膨脹シテ已マズ、殊ニ過去四五十年間ヲ以テ最モ甚シトス、租稅ハ富ノ發發ニ從ヒ次第ニ多ク課シ得レトモ、サリトテ租稅ノ増徴ヲ以テ無限ニ膨脹シ來レル經費ヲ支辨シ得サルナリ。是ニ於テ、各國ノ財政家ハ昔日弊履ノ如ク、捨テ去リシ官有財產又ハ官業ヲ

忍フノ情ニ堪ヘズ、機ヲ見テハ、官業ヲ起シ、官有財産ヲ獲、其收入ヲ得テ、以テ、租稅收入ノ不足ヲ補ハントスルニ至レリ、各國カ爭テ、鐵道ヲ國有國營トセルハ、亦以テ其例證トスベシ（一般經濟上并ニ社會政策上ノ理由ハ固ヨリ之アルモ財政上ノ理由ガ甚タ重キヲ爲セルコト爭フベカラズ）鐵道ノ收入ハ、國ニヨリテ大ニ異ル所アルガ、普魯西其他獨逸ノ諸國ニ於テ、其收入最モ多シ、是ニ於テ學者或ハ鐵道ヲ以テ近世ノ *Domainium* ト云フモノアリ* 蓋シ時代ノ傾向ヲ最モ能ク言ヒ表ハセルモノト謂フ可シ。

鐵道ハ一例證ニ過キズ、最近ノ財政家ハ素ヨリ鐵道ヲ以テ満足セズ、種々ノ官業ニ手ヲ付クルコトニ汲々タルカ如シ、獨逸ハ此點ニ關シテ、最モ歩ヲ進メリ、從テ其私經濟收入ノ額ハ、租稅收入ノ額ニ比シ決シテ輕視スベカラサルモノ存スル也。

是ニ由テ之ヲ觀レハ、歐洲ノ財政ハ私經濟的收入時代ニ初マリテ、特權經濟時代ニ移リ、更ニ租稅時代ニ進メルモノト云フベク、租稅時代モ、中ゴロハ、私經濟的收入ヲ斥ケシモ、最近ニ至リ、私經濟的收入ヲ増スニ至レル也、故ニ現代ハ租稅ヲ中心トシテ財政ヲ營メルモ、又私經濟收入ノ甚タ重キヲ爲セル時代ナリト斷セサルベカラズ。

今ヤ歐洲諸強國ハ各其國運ヲ賭シテ、戰ヒツツアリ、其戰費ハ頗ル巨額ニ上リ、英佛獨ノ如キハ一年間ニ於テ各百億圓ヲ費セリ、諸國ノ戰費ヲ通算セバ、無慮五六百億圓ニモ上ルベシ、而シテ多クハ公債ヲ以テ之ヲ支辨セルカ故ニ、其年々ノ利子ハ貳拾億圓ヲ下ラサルナリ、果シテ然ラハ其利子拂丈ヲ爲スニモ、貳拾億圓ノ租稅ヲ増ササルベカラズ、然レトモ、租稅ハ無限ニ増シ得ルモノニアラズ、乃チ知ルベシ、各國ノ財政家ハ、私經濟的收入ニ向テ、其逃ケ路ヲ見出スニ至ラ

ンヲ、余ハ是カ故ニ曰ハントス、今ノ時代ハ私經濟的收入ノ重キヲ爲セル時代ナリ、將ニ來ラントスル時代ハ更ニ其重キヲ加フル時代ナラント。

職テ官業整理論者ノ説ヲ見ル、如何ニ時代ノ大勢ニ背馳セントシツツアルカヲ見ルベシ。

六

以上論スル所ニ由テ吾人ハ、目下官業整理ノ目的物トナリツツアルモノニ就キ、容易ニ其拂下ノ可否ヲ斷スルコトヲ得ベシ。

之ヲ鐵道ニ見ルニ、鐵道ハ獨占の事業ナリ、其收入ハ、官業の收入中、最モ重要ナルモノナリ一般經濟上ヨリ見テモ、社會政策上ヨリ見テモ、財政上ヨリ見テモ鐵道ハ之ヲ拂下クベカラザル也之ヲ製材所ニ見ルニ、製材所ハ、官林ト離スベカラス、官林ヲ拂下ケズシテ、製材所ノミヲ拂下クルハ無意義ナリ、然ルニ、官林ハ、一般經濟上、社會政策上、財政上之ヲ拂下クベカラズ、從テ製材所モ亦拂下クベカラザル也。

之ヲ製鐵所、製絨所、印刷局ニ見ルニ、是皆、國家ガ需要スル財ヲ生産シテ、自給セントスルモノ也、財政上維持スルノ理由アリ、漫ニ拂下クベカラサル也。

假ニ一步ヲ讓リテ、是等ノ官業ヲ拂下クルトセン乎、拂下ヲ受クルモノハ、必スヤ天下ノ大資本家タラン、而シテ其事業カ唯一ニシテ、民間ニ未タ存セサルモノナランニハ、其資本家ハ獨占者トナルベク、其事業ガ民間ニ存スルトスルモ其民間ノ事業家ガ拂下ヲ受クルトセバ、亦其事業家ノ獨占トナルベシ、是レ政府ノ獨占ニ代フルニ、民間ノ獨占ヲ以テスルモノ也、官業ト民業トノ對立ヲ廢シテ、民業ノ獨占ヲ作ルモノ也、共ニ非也、果シテ然ラハ、政府ハ民間ノ獨占ヲ破ル

爲ニモ、是等ノ官業ヲ拂下クベカラザル也。

是ノ如キハ、一般國民經濟上、社會政策上、財政上ヨリ觀察シテ下シタル斷案也。

官業整理論者ハ官業ハ民業ヲ壓迫ス、民業ヲ發達セシメントセハ、官業ヲ拂下ケサルベカラズト云フ、是レ單ニ生産方面ヨリ觀察セルノミ、社會政策上、財政上ノ觀察ナシ、問題ヲ解決スルニ足ラサル也、然ルニ、假ニ、生産ノ方面ノミヨリ觀察スルモ彼等ノ説ハ誤レリ、彼等ハ曰ク、官業ハ民業ヲ壓迫スト是レ官業ノ存スル間ハ民業ハ起ラサルコトヲ意味スル也、然レトモ、コハ我國資本家ノ企業心如何ニ關スル問題也、企業心盛ナレハ、假令官業アリト雖トモ、民業ヲ起スコトヲ得レハ也、現ニ枝光ノ製鐵所アリテ、而モ民間ニ製鐵所起リシニアラズヤ、彼等ハ又曰ク、民業ヲ發達セシメントスレハ、官業ヲ拂下ケサルヘカラズト、是レ官業ヲ拂下ケハ、民業直ニ發達スルコトヲ意味スル也、然レトモ是レ亦民間企業心如何ニ關スル問題也、官業ヲ拂下ケタリトテ、拂下ヲ受ケサル人ノ企業心ヲ刺激シ之ヲ盛ニスルトモ思ハレズ、從テ官業ノ拂下ハ經營ノ移轉タルニ止マリ拂下ヲ受ケタル人ヲ利スルニ過キサルモノトナルベシ、民業ノ發達ハ之ヲ期スベカラザル也。由是觀之、民業ノ發達ハ企業心旺盛ナリヤ否ヤノ問題ニカカレルモノニシテ、官業拂下ノ問題ニカカレルモノニアラサル也。

要之、官業整理論ハ誤レリ、官業整理ノ目的物トナリツツアル鐵道製材所、製鐵所、製絨所、印刷局ハ、悉ク拂下タルコトヲ得スト斷セサルベカラズ。